授業科目　生理学

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	臨床
生駒　俊和	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	3	時間数	45

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○		

【概要・一般目標：GIO】
人体がいかに巧妙な仕組みで働いているかを理解し、生理学の基礎的な知識を習得する。
生理学的用語を理解し、生体の生命現象と活動の仕組みを習得する。

【学習目標・行動目標：SBO】
1．生体の恒常性について説明する。
2．体液と循環機能について説明する。
3．呼吸機能について説明する。
4．消化と吸収について説明する。
5．代謝および栄養について説明する。
6．尿の生成と排泄について説明する。
7．体温の調節について説明する。
8．内分泌臓器とホルモンの作用について説明する。
9．神経組織とシナプスの機能について説明する。
10．末梢神経と中枢神経の機能について説明する。
11．感覚系の機能について説明する。
12．筋組織の生理学的特徴について説明する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	生理学について、体液	1	講義
2	血液、細胞の機能	2	講義
3	循環器系１　心臓の機能	2	講義
4	循環器系２　血管の機能	2	講義
5	呼吸器系１　呼吸器の作用	3	講義
6	呼吸器系２　呼吸調節	6	講義
7	消化と吸収１　消化	4	講義
8	消化と吸収２　吸収	4	講義
9	代謝および栄養　体温とその調節	5,7	講義
10	尿の生成と排泄１　腎小体の機能	6	講義
11	尿の生成と排泄２　尿細管の機能	6	講義
12	内分泌１　内分泌器官と調節	8	講義
13	内分泌２　内分泌臓器とホルモンの作用１	8	講義
14	内分泌３　内分泌臓器とホルモンの作用２	8	講義
15	神経生理の基礎、神経組織について	9	講義
16	神経組織の機能とシナプスの機能	9	講義
17	末梢神経系	10	講義
18	中枢神経１	10	講義
19	中枢神経２	10	講義
20	感覚機能	11	講義
21	内臓感覚と特殊感覚１	11	講義
22	特殊感覚２	11	講義
23	筋組織の生理学的特徴	12	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	臨床検査学講座・生理学（第２版）	佐藤　健次、北村　清吉	医歯薬出版	2004・2,730円・2004年２月
参考書				
その他の資料				

【評価方法】
講義中に実施する小試験（30%）
定期試験（70%）

【履修上の留意点】
医療技術者を目指す人にとっては、重要な基礎科目である。予習、復習を行い不明な点は質問をし、人体の機能についての基礎知識をしっかりと理解する。試験は講義中と講義終了後に行う。なお、講義欠席の場合はその講義中試験は０点とする。